

明治四十三年六月
滞阪要録



特別
14
1919
928





14
1919
928

滞坂要録

二冊

大阪募集名簿

一冊

大阪方面備考名簿

一冊

大阪寄附者名簿

一冊

市島謙吉氏基金募集ノ夕々大阪へ
出張セラル事數次是ハ其ノ折々
ナリ



明治四十三年六月十四日来改
以降

未決人名

三井上保次郎

村山彦一

林 吾 友

中村伊三郎

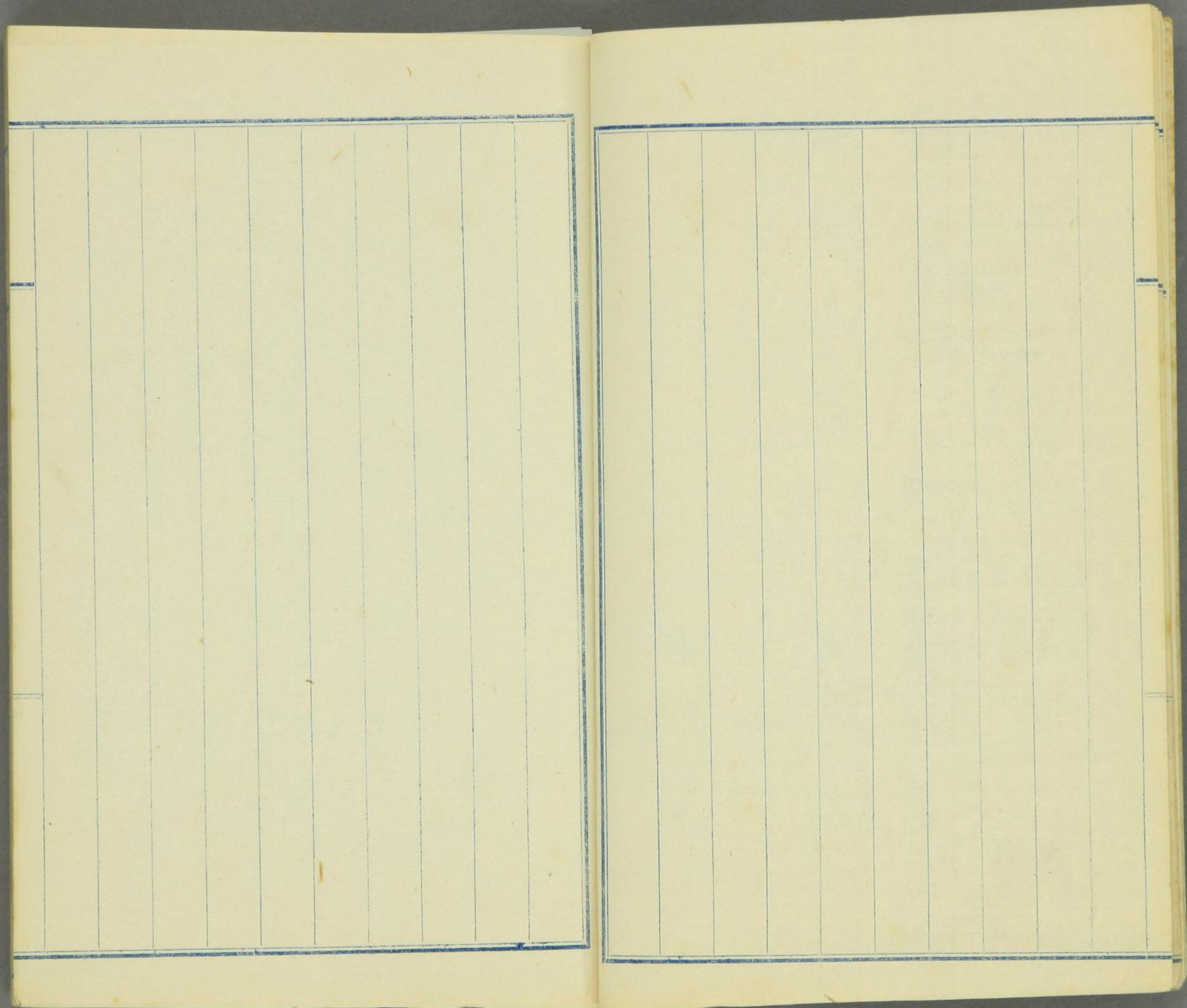
二川茂也

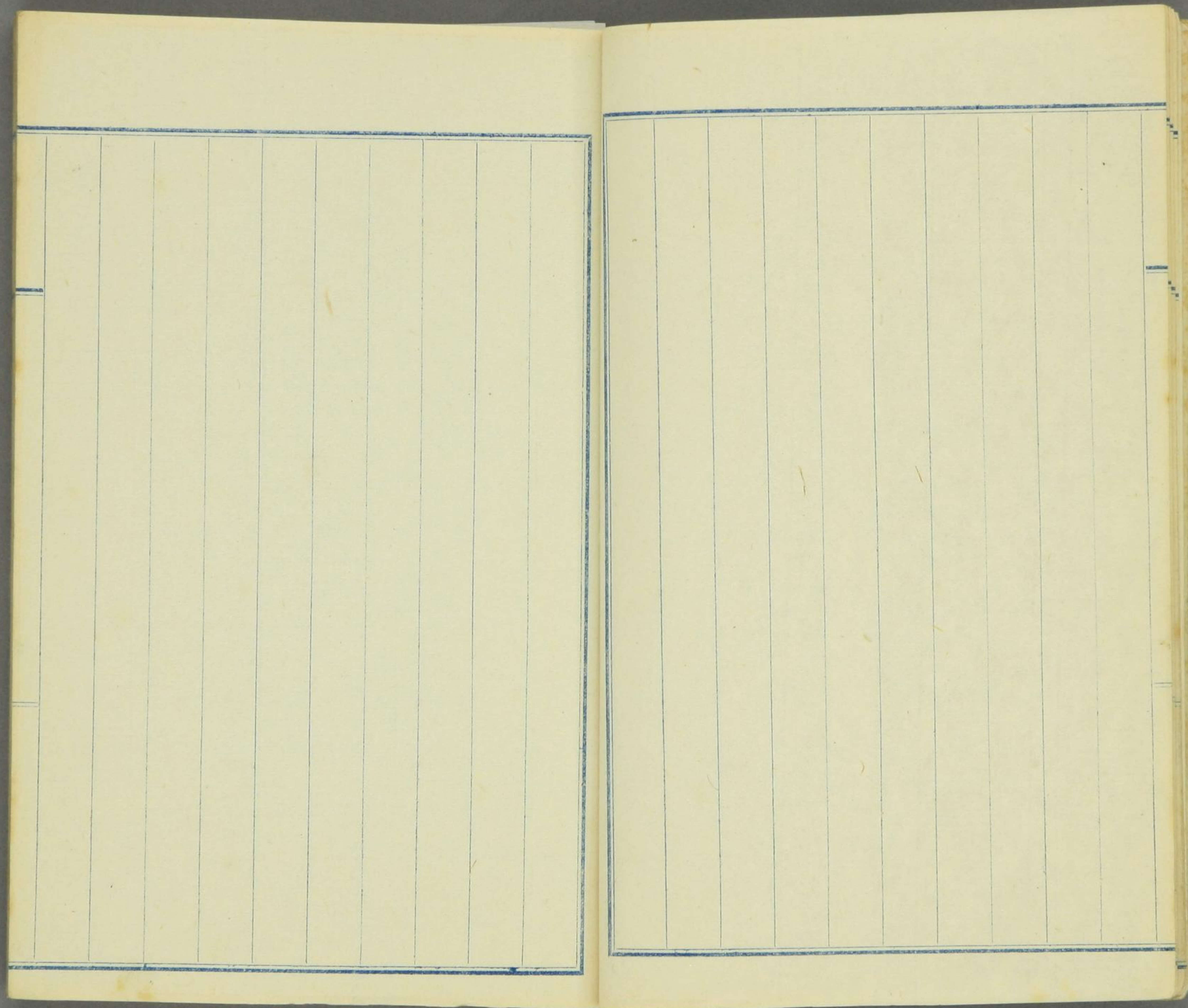
水
山田留吉
井上徳三
三河志吉
中野右左衛門
柿崎欽兵衛
北村正次
沼田正右衛門
久原庄左衛門
山本楽助
山田留吉
原田十次郎
黒川善七
山口吉右衛門
坂本彦三郎
口比命共左衛門
菊池道平
湯川忠三郎
水戸徳平
司徳平

水
山田留吉
井上徳三
三河志吉
中野右左衛門
柿崎欽兵衛
北村正次
沼田正右衛門
久原庄左衛門
山本楽助

土居色支
海子(嘉一
尾崎(妻利
井(氏(百(了)
市兵衛
石井(得(研
杉村(正(左(了)
増田(行(一
山本(左(心
野村(半(三(市

高木
田附政次郎





橋本名 元

梨友氏

八木福松

~~中村伊三~~

○中村伊三

林 音吉

楊井休六衛

生 孫香子

高井説三

別府睦子
小林林之助

森久之衛

乙宗源守

肥田清兵衛

源房喜兵衛

吉打儀兵衛

井上貞次郎

~~中上貞次郎~~

川波正七 化松

西村輔三

清正信

雪井忠兵衛

清海又三郎

吉打安兵衛

○北村正治郎

太田守兵衛

森平輔

○少将殿

○津田信五郎

小山忠兵衛

船

船

山本忠兵衛

山本忠兵衛

船

船

木村彦右衛門

稲畑清左衛門

船

山本忠兵衛

大塚城守

高木又次郎

町田氏

山本忠兵衛

芝川又右衛門

里川孝七

片岡真輔

岸本五兵衛

杉村正太郎

町田徳平

増田信一

山本忠兵衛

六月十日

三
西
屯

日比曾芳彦

山田 卯吉

井上 徳三

~~津田 徳三~~

尾馬 貞次

田所 政次

中
橋
屯

井上 保次

原田 十次

杉村 正吉

谷口 房次

柳原七

杉本城守

井上保治

本山彦一

増田俊一

森江章三

小林共一

山田七

宅徳平

中野大右衛門

中野市兵衛

東氏

司德平

三河赤先

大崎長三

大井卜新

山本赤心

高井説三

織田

克克氏

二川氏
河内氏

岸本氏

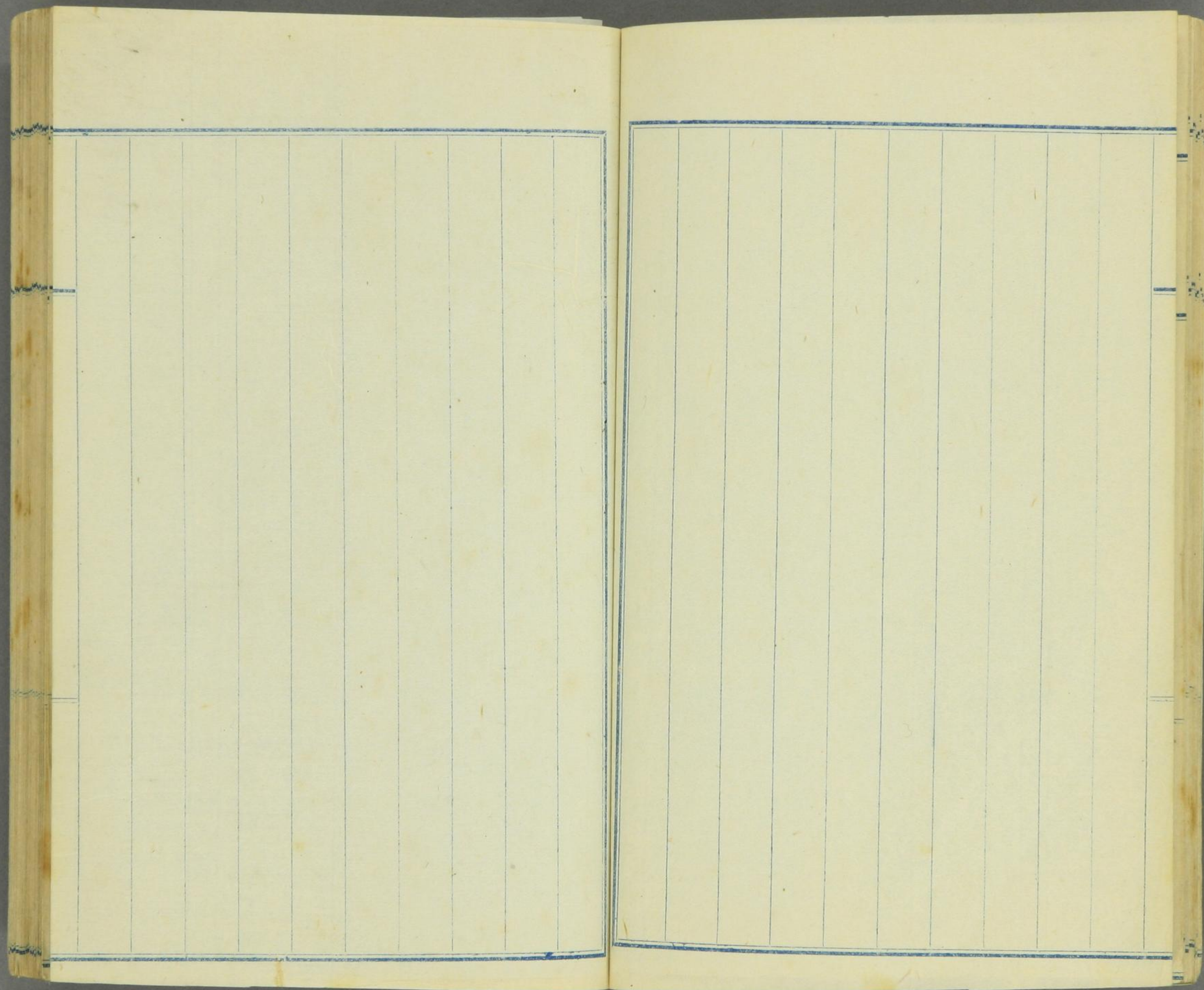
谷新助

高杉氏

井上保治

山本氏

石井清雄



以下
21丁
白紙

二月十号朝 着目改保と祿戸生張中
し字長ろ改とまう けう 改保の打乞
をわす

抄のあ年改、けう保市(一〇〇)柄谷重
助(二〇〇)の改保み改保の寄附取
小切年を改保み右(一〇改二〇)子
扱くえ改保

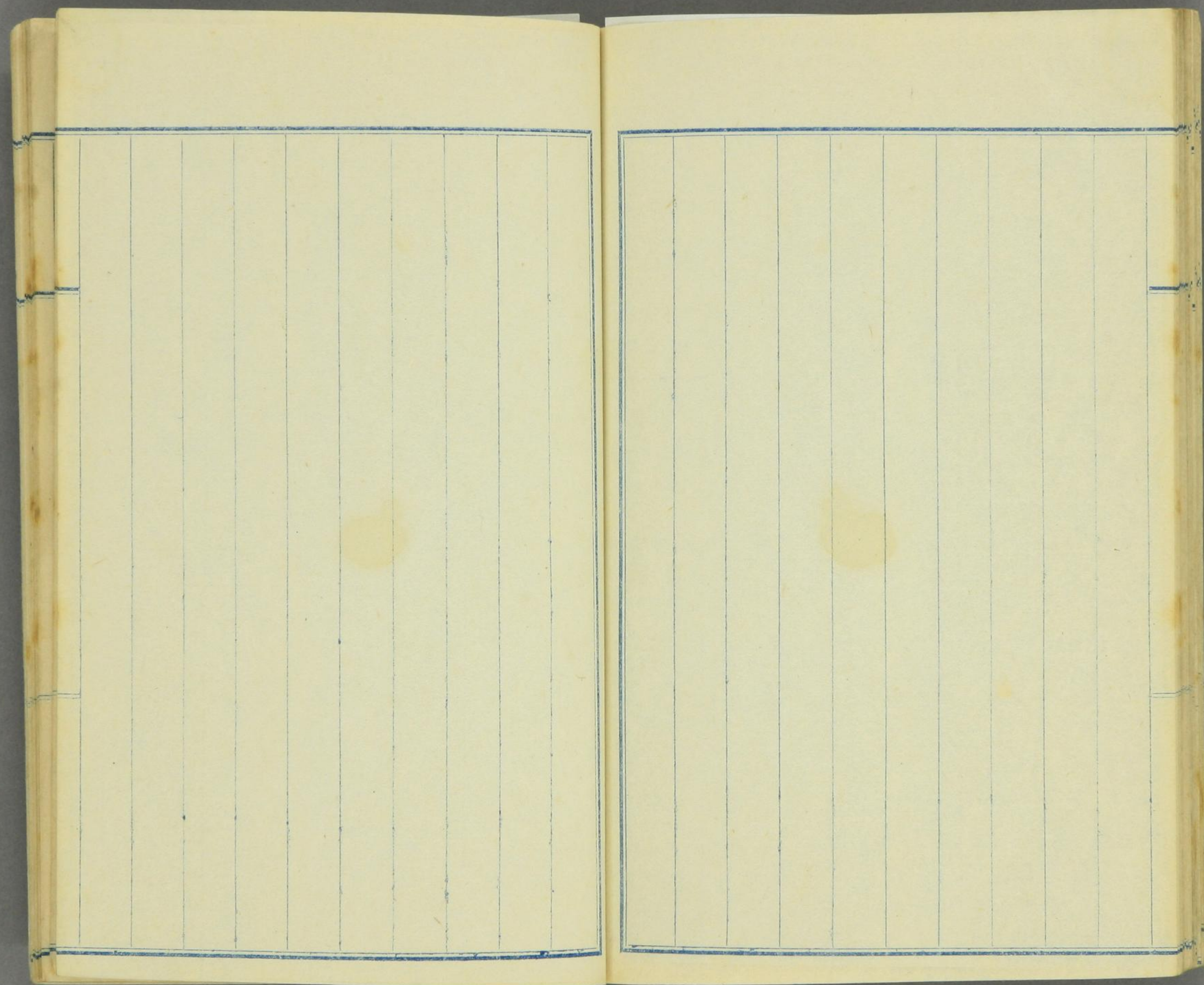
十号 光元改保の(一〇改保)光元保子
岸本市をり、右改保をわす

中橋町田桐原此のあたりに歴々の
高山幸三氏に柿崎館を文額の決
定を托す 岡定を原とし四子
一とあり

十六日 由 野のあやしの上の件は武内作
と伝の、堂の方面の件は志克之次
郎二に分つてありしに、二葉に
車方あり、す物一板折るる
也

十七日

この朝中橋と伝ふ又二川新田杉尾
孫四郎と伝ふ杉尾に伝ふう、菊池
を田生、為院に伝ふ、う、
川端沖田結と伝ふ、
結果を報す、
姫路とまうり、
高心、
化粧を、
新助し、



以下
11丁
白紙

三河六支
尾崎三吉

高木又次郎

加藤文吉

高田山
麻生由左三

板及十力

伊藤忠兵衛

山崎宗信

本竹三丁目

津入田村又六不在

高田山

雪法

高田女子校

千九百九十三

上本町二丁目万六十七 湯田忠二
多持三丁目

加方あかこニヨアリキユウー 克克元次
生糸係段全松

安土町三丁目 東九八六山ノ下
ハツ抜ウエ

車込瓦町三丁目 東二〇六 石井得雄

京都寺町四条南入 勇野成孝

神戸市下山手道四丁目 田村又六

兵三多助又直吉

京都市万壽寺(馬丸西川手島) 肥

大坂 車込船鐘所 保良印 石橋行雄

特選印 本村権左三

車込瓦町三

石田安一

支那 山本洋十一

北沢小丸
三入田
二日

車込北久賣寺三丁目
佛浅井ノ印大坂支店
支那

石田安一

車道更行三百

口 石井得石 小石

北入平

北尾元

系 田村半三

田村

豊能印

池田

兼

高田

高田

と

台場中 力西外在

水谷

毒草

杉尾野

水谷 中町

割

二川

水谷 橋

毒

今打

上福北二丁

水谷

水谷 橋

和之井

古門

水

大改志

水谷 武田

中務徳右衛門

●山中田清左之

林林之

山岸本一ちり

北條

江口原五郎

磯谷重吉

谷長助

三浦の次武由作

孝安氏

山中直七

山孔武助

白井忠三郎

瀬尾五郎

出江源五郎

揚井信五郎

水谷清五郎

津和政主

打島伊左子

宇治左五郎

海を渡るべし

高橋正太郎

せいご

酒井玄直

ふた代

吉田卯之助

丹波守

大和守



山口藩 治平 氏
治平 九八六
伊藤忠兵衛

山口藩 治平 氏

治平 氏

山口藩 治平 氏

山口藩 治平 氏

山口藩 治平 氏

山口藩 治平 氏

山口藩 治平 氏

山口藩 治平 氏

山口藩 治平 氏

山口藩 治平 氏

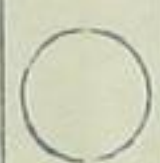
秋山忠直

及子織次

及子孫

此世習校及也

田村又六



山本以士氏

新田忠成

新田重成

板妻

半新

石井

新田

井上 由

夫 新田 其 香 園

奥又之守 肥 弋

中 崎 方 雨

高 崎 方 平

支 那

武 衛

流

北 流

堀 川 上 之 守

新田 方 雨

伯 耆 同 之 守

三 河 上 之 守

方面接合

石井湯作氏

大崎氏三

社名と記号

尾馬平左衛門

藤田重之

高杉七

小山健三

井上保助氏

三川氏

高杉の長年

外布の方面

の長年

高杉の氏

高杉の氏

高杉の氏

高杉の氏

天正寺の根

中野大木工門

木村橋石三門

木村橋石三門

市長法表

依りて与兵衛

高尾信七

和山久左衛門

岩田先生

橋本為次郎

清政作之助

流

考初

泉宮宗地

中西平六衛

根末其地

根末其地

大政新稿

本山彦一

加藤恒忠

宮北初太郎

大政新稿

牧野善平

大政新稿

田井信一

大政新稿

海老原嘉平

大政新稿

中尾清吉

電二二一九 木村有子

西多野子

執事長 大みき由

(法之の末光)

執事 藤枝のぼる

(法之の末光)

執事 藤枝のぼる

藤の 及森琢雨

代名竹京竹寺(自宅)

京師車洞院四條寺 伴良太中

京都一乗車馬場下(東側)

藥 桑名鐵城

大坂南區政町 金澤利助

大坂。報 吉山花義

大坂。報 望田黄波

大坂。報 角田勤一

大坂。報 菊池画芸

安土町三丁目 電車九八六 山口屋御沙

車区瓦町二丁目 小車二〇六 石井得雄

北浜二丁目麻生商店 仲 未夫

上福修北一丁目 米 今村八郎

栢田元養坊西辻北入 米 二川茂昭

堂崎渡通 米 栢尾裕男

車区北久寶寺所二丁目 石田安政

神戸市下山手通四丁目 田村又六

六本木区数寄川 伊藤俊次

神戸兩河山下

大塚車区森之宮西一町五丁目 奥天守

車区大川町四十一 谷本

上車区新町通中三丁目 木村有吾

京都 中央リウが代瀬士西町 龍寺法主 龍親

岡山市榮町九 其原文 汎

岡山縣玉崎 三宅元 雄

京都市新町清町通下

兵部卿武原守印部卿右大臣清原村

字申穂田九四六一一 牧止寺次郎

大政事道修可五丁目

出羽守 和国十里也

大政事左大臣可玉手(山口守)

坂本全満

大政事道頼上可五丁目

油谷持文也

大政事源朝事久遠考可方入

形之良平後元

上条新大官有下出高町上

平山守 平山殿信

章行源守并总柵上元车例

西条守 段友環也

下高守(島丸守)七全与车本元守内守

下間雲也

上高守(口守)有下根可上元守親寺

下本守 阿部慧也

京都寺町四条南入

曾也作太中

